

様式 4

平成30年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取西高等学校

学校長 山本 英樹

評 価 日	平成31年2月13日(水)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ○授業アンケートの結果から、生徒が積極的に学習に取り組んでいる様子が伺える。学力をつけることも大切だが、生徒一人一人が自己肯定感を持てるよう工夫をお願いしたい。 ○自己評価表の中にあった、「年間カリキュラム一覧表を用いた教科横断的な取組」が始まり、徐々に広まりつつあると思う。学びの幅を広げるためにもこの取組を継続し、発展させていってほしい。 ○自己評価表で、「芸術鑑賞会や芸術講演会など多様な芸術文化に触れる機会を企画する」とある。芸術の学習を深めることによって、学びの幅が広がると思う。今年度はどうであったのか。 (2) 説明・公表について 特になし。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ○国際模擬国連、科学の甲子園、生物オリンピックなどで優秀な成績を収めるなど成果が挙げられているのではないだろうか。グローバル人材が育っていると感じる。それらの取組を全生徒に還元し、後輩に伝え、西高の伝統としてほしい。 3. 取組改善のための提言 ○SGHの取組で多くの成果が挙がってきている。この事業も来年で最終年度になるが、その後どう継続、発展させていくか。		○検討したい。 ○継続して取組みたい。 ○芸術講演会や音楽、書道、美術を統合した授業の実施等により、生徒の文化的教養の育成に役立っている。このことは授業アンケートの結果「芸術に対する興味関心が高くなった」という割合が、昨年に比べて大幅に増加したことと関連していると思う。 ○努力したい。 ○「グローバルリーダー育成基金」を設立し、同窓会にもご協力をいただきながら、可能なことは継続していきたい。